

九州・沖縄地区の5月生コン出荷量（全生連九州地区本部）

前年同月比10.3%減、佐賀県は6.2%増

全国生コンクリート工業組合連合会九州地区本部がまとめた7年度月別・地区別出荷実績によると、5月度は九州・沖縄地区（宮崎県を除く）で前年同月比10.3%減の合計62万463m³。

5月度の県別内訳は、「福岡県」が前年同月比11.7%減の20万5,044m³、「佐賀県」同6.2%増の2万8,425m³、「長崎県」同10.3%減の5万5,337m³、「熊本県」同9.6%減の9万8,442m³、「大分県」12.7%減の5万8,191m³、「鹿児島県」同18.4%減の6万8,604m³、「沖縄県」同4.3%減の10万6,420m³。佐賀県が増加している。

7年度累計では、「福岡県」が前年度比10.1%減の42万989m³、「佐賀県」同11.6%増の6万3,536m³、「長崎県」同12.4%減の11万4,595m³、「熊本県」同2.7%減の21万1,821m³、「大分県」3.5%減の13万1,795m³、「鹿児島県」同13.3%減の15万102m³、「沖縄県」同0.3%増の22万3,991m³。佐賀県、沖縄県が好調に推移している。